

表2-5-1-3 環境分野の主な調査・研究の概要

【保健環境センター】

研究機関名: 保健環境センター (https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/tyosakenkyu.html)	
1	<p>調査研究名 公共用水域におけるPFOS及びPFOAの調査 (令和3年度～令和4年度)</p> <p>目的 ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)をはじめとする有機フッ素化合物は、撥水・撥油剤、泡消火剤等として様々な製品に利用されてきた。しかし、有機フッ素化合物は安定性が高く、加えて難分解性のため、環境での残留性と生物への蓄積性が問題となっている。そこで、県内での実態を明らかとするため、環境基準点を中心とした公共用水域(河川等)のPFOS、PFOAの水質検査を実施し、今後の環境行政の資料とするもの。</p> <p>概要及び成果 保健環境センターで行うPFOS及びPFOAの分析法を確立した。県内の環境基準点を中心とした主要河川、湖沼及び地下水におけるPFOS、PFOAの水質検査を実施し、県内の現状を把握するためのデータを集積した。</p>